滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增

○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料金一長期連掲減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

特別廣告

◢資本金貳千四百萬圓
◢積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫勅 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室
百八番 事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
相模丸 五月八日出帆 太沽、芝罘、仁川、釜山 長崎、門司、神戶行
立神丸 十一日出帆 太沽、芝罘 長崎、門司、神戶行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口 代理店 旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告
日海丸 五月五日 門司行
金龍丸、大龍丸、國見丸 臨時芝罘定期
萬成源丸 龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシヤルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
瀛營口船出帆廣告
汕頭丸 五日出帆神戶直行
潮洲丸 十日入港乘客謝絕
南越丸 八日入港
代理店 ブツレユ兄弟商會 東營口公園地橫 遠來洋行（電話二十三番）

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製器家具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需 國本主人啓

○○宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至 總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內 電話（店一八三番 住所五五番）

○○東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡船輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿謹白

○○東永茂
本號機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

○○西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

○○仁裕號
保發運各幫火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

○○丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式褂子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸 丸三洋行分莊謹啓

○○永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃（電話九十五番）
西義順棧內 西櫃（電話九十八番）

○○代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撻利）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沾來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸 頹朝丸
專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東淸鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本淸酒一概俱全另有淸國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷 松茂洋行（電話五十二番）

○發售新到洋白糖
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷
三井 電話 第六十六號 第九十一號

倉庫部
今回倉庫所在地（靑堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議
洋行 電話 第六十六號 第九十一號

生徒募集
營口瀛華實學院招入學生
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し最に督促書を差出したるも尙遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

周 鐵道遼河 裕和盛運輸局（電話九十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱鱗太郞 謹啓

材木 荒物 販賣
秋田洋行
營口永世街第一八四號牛野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨卓交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃開設 營口南永世街北斗洋行
西 營口西北街塘子胡同內

上海 中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專館之約凡新聞紙料印書籍各式紙莊票包棉紗料草板紙張り本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

發賣
料木、杆子 一丈 一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、
日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切御賣
日本酒春駒一手販賣
捌荷洋行
營口元神廟街（電話一四七番）

○○矢野洋行
啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種樽詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街 電話百三十七號 本行主人啓

税關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委託販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依賴ニ應シ御立換可仕尙其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇 英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號） 小島榮藏

一、東淸鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許
營口西北街（電話一八番）牛家屯停車場構內（電話四六番）
丸重洋行

東京電報

●兩陛下の御參拜　天皇皇后兩陛下には本日午前靖國神社へ御幸啓親しく御拜あらせられ之に次て各宮殿下を始め文武百官軍人遺族等の拜禮ありたり（三日午后二時五分發）

●東宮御招宴後報　二日皇太子殿下の御酒宴に召されたる者六千五百餘名なりき

●桑港震災と貿易　内田紐育領事の電報に依れば桑港震災は對米國輸出貿易には格別の影響なき見込にて建築材及セメント等の需要增加するならん而して一般貿易の回復も案外に速かなるへしと

●安東縣領事館開設　安東縣は岡部領事着任一日より開始せり

●林駐英大使着崎　林大使は一日長崎に着せり

●墺國公使歸國　墺地利公使は二日東京發歸國す

●瑞西公使の參內　瑞西新任公使リッテル氏二日參內信任狀を捧呈せり

●米國富豪入韓　米國富豪シップ氏三日京城に入る數日間滯在の上旅順大連に向ふ筈なり

●露淸談判の決定條項　上海電に依れは二日迄に露淸談判の決定條項中重なるものは左の如し

一、鐵道保護兵の外はポーツマス條約に依り撤兵すること

一、南部滿洲にて日本と同樣の條件を以て吉林黑龍江兩省の材木伐採を露淸共同會社にて經營すること

一、鴨綠江岸にても露淸共同會社を設け材木伐採の權利を得ること

（以上五月四日午後五時着）

倫敦電報

●英國昨年度の決算　英國昨年度決算に依れば歲入の歲出に超過の額三、四六六、〇〇〇ポンドとなる

●英國本年度の豫算　本年度の經常費豫算は歲入一四四、八六〇、〇〇〇ポンドに對して一四一、七八六、〇〇〇ポンドなり故に臨時費として四〇〇、〇〇〇ポンドを引き去り流用し得べき剩余額二、七〇〇、〇〇〇ポンドを殘す此內五〇〇、〇〇〇ポンド及び淸國償金五〇〇、〇〇〇は規定の計畫により償還する額と昨年度の剩余額と合せて國債の中一三、五〇〇、〇〇〇ポンドを償還するに充て又二〇〇、〇〇〇ポンドを以て郵便事務費に充て烟草稅二ペンス半を減すべし送金手續に因りて二、〇〇〇、〇〇〇ポンドの損失あるべく石炭稅を廢止して所得稅ビール稅及酒稅は其儘据置きとす（以上五月一日發電）

●茶稅減稅期の變更　大藏大臣アスキス氏は茶稅減稅の施行期日五月十七日を五月十四日に變更せり（五月二日發電）

雜報

●露公使の抗議　在北京露國公使は淸廷に對し喀什喀爾及び支那土耳其斯坦に於ける露國派遣員よりの報告に據れは同地の總督は英國の要求に依りアフガニスタンのカブールより喀什喀爾に達する鐵道敷設特權を英國資本家に與へたりとあり淸國の英國に對して此の讓與を爲せるは淸國の西北境に於ける露國の利益を害する最も少しとせす故に露國政府は此の損害を償ひ且つ列國との均勢を維持せん爲め支那帝國の他の部分に於て之と等しき要求を提出するに至るへしと申込たり然るに淸廷は之に對し我が政府は支那土耳其斯坦の支那官憲より未た斯の如き報告に接せすと答へし由

●英國の新政黨　英國の中等社會に在りし從來政黨政派を厭ひ政治界に超然たりし人士相謀りて新に一大政治團體を組織するに決し去月十五日夜其の創立會を開きたる由なるか該團體は從來黨派の爲に政治上に勢力無かりし文學家、著述家、技術家、音樂家、文武官吏、會社員、商店員、書記等總て學問又は技能に依れる報酬に生活する者を網羅して大に勢力を張るの計畫なりと

●維的伯の辭任理由　露國宰相ウヰツテ伯の辭表提出は一再に止まらさるか露帝は斷乎として其の辭表を却下し其理由として庶民院の開期は已に來月に迫れり人民と協力して國家に盡さんとする宰相當初の政策を實行すへきは國家に對する當然の義務なりと言へり而して伯の心事は名實共に完全なる宰相たるにあらすんは留任し難し內務大臣ヅユルノボーの爲に其の政策を妨けられ知らぬ間に其の施設を改廢せらるゝか如き事あらは其の責に任する能はすと云ふに在りと

●本邦國債總額　大藏省の調査に據れば本年三月末に於ける內外國債額は左の如し但し其の中には借入金及び大藏省證券を計上せず且つ國庫債券及び英貨公債に就ては拂込濟額を以て債額とせり

	圓
內債	九三〇、〇五六、〇五四、二五六
外債	九二〇、四一〇、三〇九、五〇九

●淸國留學生の言動　佛國留學の淸國學生四名及び數名の淸國人は革命的論文を佛國新聞に投書したる廉を以て同國駐劄淸國公使は學資の支給を中止せんとを淸國政府に電報せしが同學生は廣東人なるを以て廣東官憲此事件を擔任して調査すべしといふ又日本に於ける淸國留學生等は蘇漢鐵道條約により英國會社は既に六ケ月間を經るも何等手を下さゝるにより該條約は廢紙たるべきものなり殊に該條約は假條約なるが故に之を廢紙となすも英淸兩國の親交を害する所なしとの意見を政府に電申したるに駐淸英國公使サトー氏は英國會社は何等條約を破棄すべき原因を釀したる事なし故に之を廢紙たらしむるは斷じて同意する能はざる所なりとの旨を淸國政府に通告したり

●奉天近事　五月一日　特別通信員報

▲新舊營務所の職權　舊營務處の外に練兵營務處新設の事は已報の如し今其職務權限に就て聞く所によれは舊營務處を巡防營務處と稱し專ら從來の軍隊を整飾して盜賊を緝捕す行營發審所附屬す新營務處は練兵則ち督操營務處と云ひ新募の軍隊を籌備し將校を敎練するに在りて陸軍小學堂は其管轄に歸すへしと則ち趙將軍は財力を謀り北京練兵所章程に遵つて新軍を創練し將來新軍練成の日を俟ちて再ひ情形を察し兩營務處を裁併して督練公所なるものを設立し中央部の現行法制に遵據し軍政を歸一する目的なる由兎に角其目的方針共に其時宜に適せる施置と云ふへく唯た速かに實蹟を擧けて所謂內外の擧目に對する申譯的形式の批難を招かさらん樣希望する所あり

▲省內捕盜營の整飭　奉天省には舊時捕盜營なるものありて盜賊を緝捕し各地方彈壓の責に任したるか義和團事變後增祺將軍は捕盜營を裁撤して巡捕隊となし各州縣に各兵二十名を派し地方官衙監督の下に歸せしめたるか當時地方多事或は捕盜營の裁撤緩期を請ふものあり或は巡捕兵の增遣を請ふものあり地方官衙によりては親兵又は護勇等の名目の下に多數の兵員を置き各地の施設取扱ひ等多岐紛雜せるか此次趙將軍は捕盜營の舊章を復歸せしめ省內各地方を一律あらしむる計畫にして則ち昌圖、洮南二府各捕盜營兵五十名、新民府、鳳凰城、興京廳、海龍府、承德遼陽、開原、海城、彰武、錦縣、寧遠、柳河、西豐、西安、懷德、康平、奉化、遼源、開通、靖安、安廣等の府廳州縣各捕盜營兵四十名、輿仁、鐵嶺、蓋平、鎭安、義州、廣寧、綏中、岫巖、寬甸、安東、通化、懷仁、輯安、臨江、東平等の州縣各捕盜營兵二十名、而して金州廳は暫く復州より兼管し各捕盜營兵二十名を置くこととし長官として五十名乃至四十名の箇所には把總一名を二十名の所には外委一名を置き俸給も把總は哨官待遇にして毎月薪水及び津貼を加へて銀三十兩外委は哨長同樣にして同しく毎月銀二十兩を給し舊來に比して頗る優待せんとするものゝ如し名はそれ捕盜營可なり巡捕隊亦た不可ならす幸に速かに實功實績の擧らむことこそ期待して止まず

▲商埠局新設の議　來る六月より奉天開放さるゝに付て淸國官場にては現在の交涉局を改めて商埠局なるものを新設せんとするの議あり前號所報の奉天官衙制改正の議と共に何れ上奏の上決すへしと云ふ

大藏大臣阪谷芳郞氏

●運輸組合其後の模樣　組合全体の決議にかゝる共同事務所設置認可願書を過日其筋に提出したる事は既報の如くなるが興倉軍政官引籠の爲め未た許否何れにも決定せさりしが同官も別項記載の如く最早快方に趣き出勤せらるゝ事となりたれば爰兩三日中には何れにか歸するも解決せらるへし而して其後組合員の模樣を觀察するに所謂十人十色にして種々雜多の行動を執りつゝあるは相變らす旅費票藏ふへか[illegible]賣を爲し少なからさる金錢を獲得しつゝあり又昨今の雲行を見て非常に前途を悲觀し窃に權利を賣放たんとて某淸人に交涉せる組合員もあり或は他を顧みす主要地に支店又は出張所を設置せんが爲め其筋に願書を差出しドシ〳〵業務を擴張しつゝあり斯くの如く種々の現象あるにも係らす表面に圓滿なるか如く裝ひ裏面の暗憺たるは折角苦心慘憺の結果得たる特權も組合の爲め甚だ憂ふる所なり何とか一日も早く圓滿に解決して倍々利源獲得に奮勵せられん事を吾人は切に希望する所なり

●消防の出初式　一と度組織して何の活動もなさす世人より無用の長物視せられたる營口消防組も其後主なる旅館料理店主等集合し種々協議をなしたる結果萬事整頓し頭取副頭取以下各係員を選定し愈々昨日を以て出初式を擧行せり今其模樣を記せんに豫定の午前八時警鐘を合圖に第一派遣所に集合し勢揃をなし市中に繰り出し各官衙を首め重なる商店會社及ひ本社の前にて花々しき梯子乘りを爲したるか營口にては目新しき事とてチャン先生のお供人非常に多かりき

●井戶川少佐の來營　新民府軍政官井戶川少佐は關東總督府へ出張中の所昨日歸途當地に立寄り一泊の上本日歸任の筈なりと

●興倉軍政官の快癒　不快にて引籠中の興倉軍政官は漸次快方に趣き本日より登廳執務せらるゝと云ふ

●領事館の林檎花　領事館內の林檎今や見事に咲き初めたれば瀨川領事は本日午後より懇意なる人々を招待しテニス會に兼ね茶話會を催すと云ふ

●松榮座本日の狂言　荒川三勇士、大序より大詰まで其役割は▲下郞岡平、緒磨知丸（千代花）▲荒川丈之助、荒川秀太郞（美根代）▲丈之助妻た熊（小美枡）▲三宅臨左エ門、荒川熊太郞（美澤次）▲八十松、小僧、狂娘（美根六）▲醫師伯道、長造、樓造（美根八）▲高井織右門、荒川母なぎさ（美花丸）

●東西南北　三十七八年戰役の戰利砲重量は七十九萬三千貫目で四斗二升入玄米四萬九千五百俵に當る▲身長六尺三寸の大男が岩手縣に出た是れが當分日本一の大男である▲英人ヤング氏は去る二十五日に積雪を冒して富士登山を試みて八合目迄行つたが遂に雪の爲めに進むことが出來無いで歸つたさうなが是れが本年の富士初登山者である▲英領コロンビヤに上陸する韓國人は淸國人と同しく五十弗の入國稅を支拂ふ規定であつたが加奈陀政府は韓國人を日本人と同一に取扱ふ旨公示したさうな韓國我保護國と爲つて其人民一躍して一等國の班に入る韓民たる者は此一事を以てしても大に我邦を德とせなければならぬのである▲大阪市役所では市吏員の異動、出張、任免、市會、市參事會、又は各種委員會の開會等を始め其他廳中日々の出來事を記載したる日刊新聞を發行して首尾全體の氣脈を通ずると爲つたさうな日本の新聞も爾ういふ處迄發展したのは面白い現象である

投書かご

先達或日中に永世街をブラ〳〵歩行くと突然平野町の入口より目の大きい立派な商人らしい金時の火事見舞のやうな赤々とした男が平野町の〇〇店の下婢らしき者三人を連れて銅羅聲を張り立て支那車夫を呼んで四人共乘車し大威張りで西營口の方へ行つた往來人は皆キヨンナ顏で見送つて居た日中妙な人間が居れば居る者である（警雨）▲營口の今日此頃尙も美服を纒ひ高帽を戴き金縁眼鏡に腕車を飛はし如何にも繁忙らしく見せ掛くるは愚か其家構を見れば門には金看板に何々洋行何々公司と大書し室には洋製テーブル皮製椅子などを並べて大きな顏をして居るが同業者の言に依ると千分の一に聞けば丁度好い位だといふ聞けば每日おまんまさへ買ふとが出來ず人の名義で借り買とは驚いた（又光生）▲一力の前を通つて少し南へ行くと水溜まりの脇に「ゴモクステルコトイヤ〳〵」といふ建札がある一體彼の附近は湯屋の近邊であるが其邊を通る每に臭氣が紛々として鼻を衝くゴモクを棄てる所か湯屋の汚水の處置方に就ても講究を仕ないと是れから益々臭氣が甚しく爲候

●花子の物語　暫しは大連の遊里に此の花子ありと謠はれし這の子過ぎにし花の三月に奉天は稍ゝ景氣挽回せりとの抱主の算盤玉に連られて今は奉天は十間房なる胡屋に本意ならぬ辛き身を憂せる最とも可愛の果女が物語こそ哀れ彼の女か生れと云ふは其名も高き九州は天草にぞ生れたるうたてさは時々刻々彼女自身が心臟を惱ますなれ、されど此子天草女に似もやらす如何に天草なればとて天の操貞ある乙女を降さざる由もなく家は全地屈指の富豪に生れ幼き頃より蝶よ花よと養育されたる身の雛ては這れ九州女子の本領を發揮せんと擧修の中ば茲一歲ならずして崎陽は某女學校の全科を修得する曉もあらばこそ若き女の一人故鄕離れし身の何れは好事魔多きの諺に漏れず時の輕薄漢に連られて遂には又拭ふに術なき女の恥辱を蒙りたるぞうたてさの限りにて女の身の一度恥かしめを享けし身は假令誰が何とて忠言するも彼女か耳に入るへき由もなく搗てゝ加へて男地獄の胸に一物夫れとは謂はぬ噓三百テクキリ花子の歡心を買ひ末は夫婦のお定まり文句是れそ此子が滿洲三界に今の身を蓑す動機とはなり去年の二月末だ空寒き風の荒む最際中手に手を執りて來りしは大連吹く風や名にし負ふ朔北より來る寒風魅られし身の理想低き反響は切に一人の男なれと只管忠實に侍べる身男地獄の固ゟ大連に來たればとて此れとて事業を起すにはあらで聊かの知己を賴りて暫く下宿の片隅に潛みさひしき日子を送るが中に次第に嵩まる下宿料時てそ來れいざ來れりと此れを種にて、さても二百の前借にて料亭の姉さんとはなるに至れる其后間もなきに夫の影見えぬのみか一度の便りもあらばこそ〳〵たり得たりと逃走したるも猶ほ女の慾目もしやに引かされて又も六七日暮すも然る有樣さてはくやしや罠に掛けられたりと今更悔ゆるも詮なく想ひ死んで恨みの數々を買かんと一時は覺悟をしたりし影の夫れと抱主に知られけれは三三五五の說論に迷夢醒めて借ては借金拂ふ迄の辛抱と明け暮れ世の辛なきを喞てるなる。噫實にも艶麗い花は無慘優ひ身の小さ胸の支ゆるに難き煩悶は夜半に枕のうるほう許りなるならんと他處の見る目も可憐なる花子兎角戀てふものは愼みても愼しへきことながら是れを欺ける彼の男地獄なるは此の惡漢を何者とか思ひ給ふにや此れぞ是れ長崎は鍜冶屋町運送問屋の大西某とは聞てあきれて人の事ながら擧て叩き殺しにして遣りたさ

●營口花信　沖の島の小春さんといふは和歌山生れの大阪育ちであるが本年取つて十九才花なら蕾の艶めき始めて眺めの頃のいと愛らしい好時期である其れに客座の曲藝と謂つたら笑ふやら泣くやら怒るやらで稱して三曲の小春と謂つて居るげな何も物はためしである粹樣一度位は九十九折のやうな細逕へ東洋日を驅つても好いであらふとは御注進の儘を取敢へず御紹介申上候

火車時刻

關內外鐵道
上り　營口發 前八、三〇 七、〇〇　溝幇子 同九、四五 九、〇〇　錦州 同后三、四五 二、〇〇　山海關着 [illegible]
下り　山海關發 前七、〇五 四、四五　錦州 同后三、三五 二、〇五　溝幇子 同二、四五 四、四〇　營口着 [illegible]

東淸鐵道
上り　新民屯發 前六、〇〇　溝幇子着 同九、一七
下り　溝幇子發 后三、〇〇　新民屯着 同六、一七
上り　營口發 前六、三〇 后九、三五
下り　大石橋發 前八、一五 后二、一五

諸鐵工製作　營口[illegible]　劉川鐵[illegible]

梅毒婦人科 外科胃腸病　專門日本醫院

天氣
營口地方天氣豫報　自四日午後六時至五日午後六時
南の風曇り

小說

新作小說 **おとし胤**（五十四）　徳田秋聲

その意味は解らなかッたけれども、敵といふ言を聞いて、光は、何樣なに胸を騷がせたか知れぬ。何故か、父と、そして自分の身の上に、恐ろしい災難が眼前に迫ッて來たやうに思はれてならなかッた。何故か解らぬ。けれども光は、馬車の車輪の響を聞いた時、既に或る恐怖に胸を衝かれたのであッた。或は、世間でいふ蟲が知らせるとかいふものであッたかも知れぬ。それで躑躅してゐると、海鹿子爵は、少し燥ッて、

「これ、疾く行かんか。何を愚圖々々しとるのぢや、むゝ。妻がまた、其方と此うしてゐるところを見たら、何か密談でもしとるのかと思ふて、何を謂出すか知れん。」

妻といふ言がまた、光の耳に何樣なに恐ろしく響いたか知れぬ。思はず立起ッて、

「それでは、お先へ參ッてよ。」

と謂ひながら、月の薄明りに透して、父の顔を見ると、垂頭いた其の顔は、一片の暗愁に包まれてゐた。

光は、何んだか胸騷がした。此くて光は、築山を下ッた。下ッてから、振返ッて見ると、夜霧に隔てられて、築山の上の父の影は何んとなく薄く見えた。西洋館の窓の灯は、何時か、パッと明くなッてゐた。光は、何んといふことは無く其處らを見廻した。夜の威靈に打れたのでもあッたらうか、光は、月の光、物の影に脅かされて、ぞッとして微な寒氣を覺えた…………途端に、

「あの、お祖父樣は、何うしてゐらッしやるだらう。だん〲寒くはなッて來るし、何樣なにか御不自由なすッて在ッしやるだらう。」

と小御門村の靜な家を思浮べて、何んとなく故郷の空が懷慕しくなッた。折から北の空から南の方へわたる雁の聲。その雁の聲を聞きながら、光はまた、健三のことを思出した。健三の俤を眼前に浮べてから、ふとまた熱田のことを思出して、

「熱田さん…………熱田さん何うなすッたらう。」と急に胸をはたゝめかせ、「阿父樣と謂ッたら、あんなことを有仰ッて、熱田さん那から何んだか妙な顔をして在ッしやッたわ。」

考へると頬が熱つくなる。これは、今、始めて思ッたことで無い。父と話してゐるうちにも、幾度か幾度か胸に繰返して見て、そして其の度に頬を熱くして、夢を見るやうな心地になッてゐるのであッた。

其ンの少時であッたけれども、光は、種々のことを思浮べてゐると、突然、ごとり、微な音が耳に響いた。仰向いて見ると、西洋館の窓が啓いて、誰か庭を見下ろしてゐるのであッた。光は、慌てゝ、植込の中へ其の身を隱した。而ると、其處にも人がゐた。光は、恟ッとして、逆身になッた。彼方も甚く驚いた躰であッたが、

「や、光さんぢやないか。」

と低いけれども、狼狽えた聲だ。

「ま、叔父さんでゐらッしッたのでございますか。」

「何うしたのだね、何處へ行ッてゐたのかね。先生、さッきから、大變に探してゐましたよ。」

「先生が…………然うでございましたか。先生、もうお歸りなすッて。」

「歸ッてゐますよ。僕は今、頭が痛くなッたから、鳥渡散歩に出たんだがね…………」と辣疏しく謂ッて、「光さんは…………」

「私、あの、阿父樣と築山の上に居りましたの。」

「築山に…………然うかね。阿父樣、もうお家へお入りになッたかね。」

「いゝえ。尙だ築山の上にゐらッしやッてよ。」

「然うか。ぢや、尙だお客樣の來たのを知らずにお在か。」

「知ッてゐらッしッてよ。」と謂ッて、光は、少時まじ〱としてゐて、「あの、今夜のお客樣は、何樣な方なんでございます。」

「何樣な方ッて、矢張その、何さ、同族の人等さ。親族方等だよ。」

「親族の方…………」と光は、呆れて、「それでも阿父樣は、敵だと有仰ッてゐらッしッたよ。」

「敵？…………」と問反して、敷馬は歎息するやうに、「然うさ、敵かも知れない。何しろ兄樣は大嫌な人ばかりだ、皆、嫂樣の味方ばかりさ。今夜はまた、兄樣は、大難戰だ。敵と有仰るのも無理はない。」

●亞細亞最古の碑文

此程鳥居龍藏氏が地學協會に於て永樂王の碑に就き一場の講演を爲せるが其概要を摘記すれば東北亞細亞に於る最古の碑文は好太王一名永樂大王の碑文にして丁度我國の應神仁德の朝に當れり該碑文を始て紹介したるは去明治六年亞細亞協會より出せる會餘錄なり予は碑文の摺り物を持ち歸りたるが石の四面に刻せるより四枚ある譯なり今は博物館にあり昨年十月下旬より翌月初旬に掛け同地を跋渉せり碑は鴨綠江畔の道溝にありて通化を距る餘り遠からず即ち鴨綠江の上流にして滿洲の境なり道溝附近の地形は長白山を走れる帽兒山を後に負ひ前は鴨綠江を隔てゝ韓國に對せり此の地一帶は三四里に渉る平地なりサテ碑文は五尺四方の長方形の花崗石にして千餘年を經たる今日と雖も文字は依然として磨滅せず此の碑文の周邊數里に亘り數知れざる古墳あり予の計算に依るも千四五百の多きに達したり碑文の場所より一里半を隔てゝ城跡あり五町四方の城壁を有し高一丈二三尺もあるが是れ昔の令安城なりしならん此の城跡より今尙往々にして古錢を發見さるゝ事あり後方山の峠には砦の存したる跡を見れば當時見張番を置きしならんが頗る要害の土地に見受けたり永樂大王の墳は高さ四丈に餘る石階より成り上部の周圍のみにて四丈三尺あり石に柱礎の跡あるを見れば其の上に建物の存せしならん輕氣球に乘じ天上より瞰下すれば恰も桝を幾重にも重ねたる如し墳の內部に二個の石棺あり一は皇妃の者なるべし其の他之に類せる古墳あるが何れも高麗歷代の帝王の者ならん土人は名けて將軍塚と云へり是等の碑古墳城跡等より察するに當年の豪奢盛事を追想するに足る云々

●遼陽花柳のぞき　兎耳子

▲花奴の誤落膽　ところは遼陽の西街に筆太く御料理盛進館と銘打ちたる魔窟に巣を造り數多浮かれ男のお髷を拂ふ白拍子がある、此の白拍子源氏名は花奴と云ふて綽名は遼陽花柳界にかくれなく斯道にかけては山に千年海に千年の古狸で本年探つて二十九歲の婆々藝妓であるが初やしき色艶は二十二三に睹へ風姿もすらりと伸び誤面相も當世流行の元祿形とやらの細面で口元も締つて居に愛嬌を湛へており鼻筋は少し申分があれど先づ垢拔がしておるから色界の餓鬼連より睹たなら生如來に其儘と云ふ鹽梅に渴仰され三味線は名計りで例の誤唱賣は却々繁昌したものであるが、さて一度花奴の魔術に魅せられたなら木强漢の髯武者殿でも海月の樣グニャ〲となつて生捕らる故に常馴染客の七八名を喰へ込みさながら手玉を操つる如く少しの隙間も見せす八面に神秘を竭くすお手際は流石に老棘イヤヘヤ寒心の外なし、夫れも其の筈生れはと伊豫の片田舍郡中と呼べる宿場で未だ肩揚のとれぬときから土地の曖昧魔窟に身を沈め臭き肥溜桶連の鼻毛を拔き初めが因で此の長年月まで尻輕るに任せ九州の果てから中國筋四國はもとより彼所此所と彷徨ひ田舍大盡の生血を吸ふた前身なれば此の滿洲に來て餓へ切つたる色餓鬼を手玉に操る位は苦もなき業であるが爰にさて花奴の許に足繁く通ふサーベル殿あり這は福長と申すおん方で色は軍人なれば黑けれ伊井峯蓉と市川高麗藏を合せた程の今丹次郎であると花奴首丈け惚れ込んだはよいが每夜の寢言にさへお安くないお惚氣を口迸る程頃と浮身を窶しての濃厚き對遇に福長サーベル殿も惡からぬ思ふたので堅く契りてお定り文句末は夫婦と起誓まで交はした間もなく福長サーベル殿凱旋出發したのは先頃であるが其の後花奴は曇り勝ちにて朝な夕なに寫眞を眺めおるとは何とお安くない話ならすや穴可祝

山　虛空洞

山を下りて見直す風の櫻哉
春雨の一夜に山は彩りぬ
此山を誰にまゐらすぞ初蕨
春風に乘して山を上りけり
青麥の果や峙つ眞田山

廣告

社告

今般左記各地へ**本社支局及販賣所**を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依賴者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

大石橋市街　**瑞穗洋行**
遼陽西門外　**芳文館**
奉天大南門內 景祐宮胡同　**本社支局**
鐵嶺南門內　**東雙泰**
安東縣新市街　**東華公司**
新民府　**泰東公司**

●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す（產婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　森嬌
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
●一本院齒科開設●●●●●（五月一日より開始）
齒科醫　兒島市郎
森病院（電話一五五）

一稅關手續
一船舶陸揚荷物
一日本帆船
一倉入荷物
一委托販賣
一荷物保管
取扱
右誠實敏速を旨とし御用命に應し可申候條陸續御愛顧を偏に奉希上候
尙日々Ⓜの腕章付したる店員御伺せ申上候に付多少不拘御用命仰付被成度願上候
營口永世街　市街鐵道驛前　**精心洋行**

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理をも始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊ひを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊の御引立の程偏に御願申上候
營口二本町　**梅廼家**　田村瀧太郎

大連市監部通二丁目五百廿五番地
高野孟矩法律事務所
但高野孟矩不在の節は辨護士戸口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河內町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡横濱宇都宮神戶廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依賴に可應候

開業　**日華貿易兼運輸業**　廣告
一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候
月　日
元神廟街二四八號（電話局向）
義安公司

大阪商船會社荷客取扱所
內外船舶代理保險貸借仲立　輸出入稅關手續
解船人夫運搬請負　諸品委托賣買
水陸輸送貨物仲次所　倉庫業
西北街　**德重洋行**
瀛船出入帆案內
日海丸　五月五日出帆
潮洲丸　五月六日入港
汕頭丸　五月六日出帆　門司、神戶行
御乘船の御方は御一報次第切符持參可仕候尙御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候

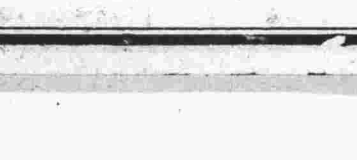
一、稅關手續
一船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一日本艀船部、回漕部
一爲替附キ荷物ハ便利ヲ計リ可申候
一引換書御送附ニ相成レハ諸費立換へ配達或ハ保管可申候
市場北時計店三ノ二階樓階　**宮原公司**

和洋御料理　**一力**
舌代
弊店儀開業以來各位の御引立に預り日增隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め內地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候
樓主　敬白

店料理
滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝惠

質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口永世街南濠第三十六號
北斗洋行質屋部

御手輕料理
一釜飯御一人前　五十錢より
一湯豆腐　一壺　廿五錢より
右之外御誂に應す



營口元神廟街二〇九號
月　日
翁亭

建物賣却廣告
南永世街甲一號（滿洲樓所在）
一木造トタン葺家屋　二棟
一土屋根支那風家屋　一棟
右本月五日午后一時入札賣却ス
但買受者直ニ解取ル事
右近所玉塚亭ニ於テ開札ス

御料理　雪月花　まつのや
板場新來了料理は高尙ト清潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ雪月花ノ會席ト仕餘ヘ御意ニ從ヒナンヂモヂス
ゲンシン
ピヨガイ
新來の姿等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓　ふで
全　松吉
全　二〇か
義太夫　牛莊
御客樣方

和洋雜貨　**盛進商行**
新着
椅子。卓子。窓懸。
卓懸。花莚。マット。
油多加織。ビロードセン。

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口靑堆子
加州組
(電話八十六番)

白米、(印)醬油、酢、木炭
淺草海苔、罐詰、乾物、
日用雜貨、漬物類、清酒
澤龜特約 其外和洋酒類
營口永世街第廿八號
大原洋行
(營口無比廉價販賣す)

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
(電話百五十二番)

ペンキ塗請負 京阪組
營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はす和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 森川範一
土木部主任技師 永原万吉
營口元神廟街第百七十二號(電話一七三番)
土木建築請負業 井上公司

萬代不朽 毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なり
リサイトは室內裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店
營口元神廟街第百七十二号(電話一七三番)
井上公司

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿州一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

銘酒 白鶴
諸雜貨

今般新荷着仕候に付ては卸小賣共も是迄の賣段より壹割引 酒及米、罐詰類は五歩引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

營口元神廟街
井門洋行
電話一八五
遼陽西門外
仝支店

大日本帝國有名方劑
化粧品 賣藥一切
卸賣 小賣
右者內地同樣の廉價を以て卸小賣共親切を旨とし多少に不拘萬事御便利を謀り可申候
大阪谷回春堂滿洲總售處 電話にて御注文被下候へば直に持參可仕候
營口永世街(三木司法部東隣)
回天堂大藥房
(電話百九十番)

日本有名秘藥物發售廣告
[illegible]
營口永世街 三木司法部東隣
回天堂大藥房 啓
(電話百九十番)

工
飯塚工程局材料部
營口元神廟前
(電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種

東營口西北街
裕和盛
電話八一番
東清鐵道 遼河
貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール
日本酒澤の鶴
洋酒、食料品
和洋罐詰、食器
內外煙草、葉卷
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外色々
卸並に小賣
彩票
每月 大連 鐵嶺 南洋 湖北 發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
(電話一三六番)

發賣
料木 棟子 木板
塩川商會
遼陽小西門內
鹽川商會
●建築
外に
電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
用材北海道產松大角(自廿五尺至三十尺)一万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

關內外蘆漢鉄道貨物
一運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎
(電話百七十八番)

西洋料理仕出し御需に應ず
御席和洋料理 東京樓支店
(電話四十四番)

御披露

今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月 日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店 高砂ホテル

會席料理 三日月
營口警務課前南に入る

稟告

弊樓儀營業以來日尚淺きにも拘らす各位の御引立に依り益々繁榮仕候段難有奉鳴謝候就ては今般弊樓向側木村旅館を讓受け居室を修繕し料理萬端大に改良を加へ旅館營業仕候間弊樓同樣御引立を蒙り度此段偏に奉希上候敬白
月 日
營口永世街五十七號
三日月樓主

入札競賣廣告

一洗石鹸 五百四十九捆但し三箱綑
右物品來る五月十日當行倉庫に於て左の條件により入札競賣に附す
一入札希望者は五月十日正午迄て現品を熟覽の上入札すること
一入札は即時開札す
一落札は最高入札者とす
一落札者は當日現金を以て其代金を仕拂ふこと「若し不履行の場合は落札無效たるへし」

松茂洋行

風景佳絶、旅館、料理、遊技完備
滿洲第一湯崗溫泉
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
營口○大石橋○海城○湯崗溫泉仝停車場○遼陽○奉天

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候 敬白
營口二本町
祇園閣旅館部
主人
(電話一四四番)
各位

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一(森病院三軒目)
(電話百二十七號)

開行

山海關發前八、一五　五、00
塘沽同后二、一0　四、一0
天津着三、二四　五、五五 發三、四四
北京着六、四五

北京發前八、00
天津同　一一、0九　六、一五
塘沽同后三、三一前一0、四五
山海關着六、一0　六、一

大石橋發前八、0五后一一、0五
南關嶺后九、0七翌后三、0七
大連着同九、五0　同一、五五

大石橋發前七、五三后一0、五三
奉天同后三、五七前六、三七
鐵嶺着同七、三一同一0、三五
昌圖着　二、三五

土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
門會街東

喜場

輕便入院
永世街警務課ノ前

報

昨日の氣溫
日最高溫度七十三度
最低溫度五十四度
昨年と比
最高八高四度七
最高十二度九

宮門抄

初六日

兵部　太僕寺　廂白旗值日無引見　察哈爾總管多普沁多爾濟謝恩　達壽假滿請安　吉林烏拉協領德林謝恩　黃紹箕等謝充講官恩　錫麟彬格伺候　召見

召見軍機　錫麟　彬格

練兵處遞封奏二件　顧瑗遞封奏一件

初七日

刑部　都察院　大理寺　廂紅旗值日無引見　棍貝子回籍請安　張百熙謝賞壽物恩　山東副將韓友倫謝恩　江南副將易英和謝恩　文煦恭送壽物覆命　德林延會文紳伺候

召見

召見軍機　德林　延會　文紳

上諭恭錄

初七日奉

旨棍布扎布現在請假正藍旗蒙古副都統着英蕊兼署欽此

論說

論中國多起教案之原因

世之談自由派者。動曰均勢平權。就一人而論。必其勢均力敵。足以抗衡。而無高下之分者。始獲其權利。就一國而論。必其地醜德齊。莫能相尙。而無强弱之判者。乃得其允平。夫惟均勢也。而後可以言平權。若勢不均焉。權亦安得而平哉。昔荷蘭人虎哥。著萬國公法。草創其例。嗣經大政治家。大法律家。數四删改補輯。始成完書。原期保世界之和平。弭兵戈之禍亂。乃自有此書之後。凡國際之交涉。戰征之變態。其得享平權之幸福。而毫無侵略之虞者。亦其均勢者也。否則有公法。無公理。恆視其國勢之强否。以爲定衡。世變日滋。情僞萬狀。有非儒者空言。所能挽回補救者。是殆大演之運會使然。抑亦致此之國。其內政民格。腐敗劣弱。有以種其因而收其果也。方今世界競爭。瞬息千變。各國文明。蒸蒸日上。各種風潮。流入亞洲大陸。而中國適當其衝。政教風俗。皆隱受其影響。國際之交涉。疆土之侵削。宜先置之弗論。即如教案一端。實我中國神明之胄。曠古未有之奇禍也。攷各國宗教。其流派甚多。爲希臘教。爲猶太教。爲景教。爲火光教。而羅馬天主教。自路德創爲別派。又有耶穌教。其間以希臘教爲最古。而入主一教。始於中國漢明帝時。與佛教之入我中國。無所先後。迨明季希臘教徒。始來東土。中國初年。彼教之來華者。類多閎達開明之士。上自聖祖仁皇帝。下及輔相士夫。受其益者。良復不少。至乾嘉之際。彼教中衰。來者絕鮮。道咸以降。各國交通。傳教通商。載有專約。至晷而教徒足迹。徧於中國二十行省。而華民之入教者。亦日漸增多。幾占戶口之弱半數。而禍烈相尋。上貽君國之大憂。下爲蒼生之隱患。已既更僕難終。僂指莫數矣。然彼教之宗旨。原在勉之爲善。勸人自修。並無禍人國家。預人政權之例。乃其初固擇品行端謹。身家清白之人。始准列入教會。洎乎日久年遠。信從者稀。不得不稍寬其例。以期樹教會之聲援。爲導引之基礎。殊不知其途既廣。其品自淆。在良民入教。藉以爲修養之資。而莠民入堂。遂以爲逋逃之藪。初則武斷鄉曲。魚肉善良。繼則抗拒官章。違犯禁令。且其黨羽。既多互相蔽匿。教士思慮雖周。耳目雖廣。其能燭照隱微。徧爲伺察乎哉。況彼等技倆精微。慣於欺飾。往往以無理已極之舉。詭爲正大之題。能令教士出爲袒庇。遂愈敢勇於爲非。自戕同類。在潔身自好之士。不與之交。不與之言。以謝絕其交際。而稚愚之子。不悉其微。獷悍之夫。不畏其勢。往時交情密邇。一旦有事。驟出機詐。陷害白端。旁觀者積怨生怒。咸爲不平。比赴公庭。官府又以畏葸懦弱之故。不肯明斥其非。率左袒教民。而壓制平民。愈積愈深。每致遇事不可解決。釀成燒教堂。殺教士。各鉅案。然則教士何辜不過城門失火。殃及池魚耳。而國家勢力衰弱。又無治外法權。即須任人之要挾。聽人之需索。而無力以爭焉。世界如此之大問題。中國如此之大慘禍。而究之皆逾分教民。失職官府。有以致之也。吁可畏也。亦可哀也。

東京電報

●桑埠之震災與貿易　據在紐育日本領事內田君電云雖桑埠地震之損害甚大該埠進口貨物絲毫不見減少就中諸建築材料及　毛氍等品銷路却可暢旺想貿易復常亦當不遠云

●安東縣日領事署之開辦　駐安東縣日本領事岡部君於西四月杪已前往履新因之日本領事署於五月一日已經開辦云

●駐英日本大使已回國　駐英日本大使林君已前啓程由英京就回國之途刻已於西五月一日到長崎埠云

●美國富紳到韓　美國富紳希布君刻已經遊歷日本於西五月三日抵韓京聞希君住留數日之後前往旅順大連等處考察其情形云

●中俄交涉決定條項　據上海電云中俄交涉事宜刻間稍有進境於西五月二日所定條項開列如左

一、在滿洲駐兵因波次馬烏斯條約所定除守備鐵道隊一律撤退

一、伐木一事日本於南滿洲所得利權俄國亦於吉林黑龍江兩省同此利益

一、於鴨綠江畔亦設木植公司中俄合辦以從事伐木之業

（以上西五月四日到）

中外要聞

●調查舊金山震災保險賠欵　路透電云英國羅也路保險公司於美國舊金山地震之災應賠保險英金約共一百三十五萬磅有不能不賠之勢　又云英國倫敦及蘭加士也亞保險公司提出該公司所儲英金一百萬磅作爲賠償舊金山保險之欵故刻已決定再募新股本五十萬磅云　又云倫敦利巴布路及庫羅布保險公司於舊金山災後應賠之數約在一百萬磅以內

●廣西迭獲巨匪　天保縣隴排漏網匪首黃玉才即黃亞顧懸賞六百金久緝未獲現經線工偵悉該匪在百色廳牛圩伏匿鎭安府徐宗蔭天保縣熊光瓚即派鎭防營閉管帶修能率隊馳往捕獲又南寧逸匪黃佩有亦一著名匪首昨經線勇查悉匿于廣東靈山縣那圩地方該圩與宣化縣交界即由左江道密派綏遠軍先鋒右營管帶張錦芳親往掩捕獲擒訖者謂此後匪勢或可稍戢云

雜報

●新闢商場請歸商辦　兩江督憲近據滬道瑞觀察候補道徐觀察稟陳興辦上海新闢北華界設立警察開闢馬路情形當奉批示略謂昨有上海閘北地戶衆商公稟一電請歸商辦以未具名不知是否果出衆意電飭該道等詢之商會查明所論是否可行察酌覆奪在案現稟設局開支各節應俟覆到再定所稱開辦伊始需欵甚多先在何處撥借支用俟召變地價歸墊等情應將需款若干勘估明確報明核奪云

●勸募速集賑欵　昨晚萬國演說會演畢忠盡卿太守探懷取電信一封遞衆閱看係上海紅十字會爲金山震災而來者維時商界諸君頗動愛群之思想許爲集會速籌郵欵第災區甚大吾華無家無食之難民三四萬人哀鴻嗷嗷刻不容緩且有非一人之力一方之人所能賑邮者尙望義士仁人解囊協助即交公會或蘸捐局忠太守處先行掣條爲憑異日逐名登報表彰盛德不拘多寡總以愈速愈妙蓋早寄一日或可早救多人云

●首倡國民捐　昨初十日本埠萬國演說會會政談鐵隍太守由田莊台來營特帶來洋蚨五百元聞係督銷總局章幼樵觀察託交國民捐局以爲營口商民之先導者想熱心愛國各志士必踴躍資助群盡國民之義務矣

●關道來營消息　昨聞河北郵局友人云新任奉錦山海鈔關梁觀察如浩前曾派員暫假河北車站房間作公館茲已齊備聞不日旌節來臨云

●一時繁盛　本埠鳳鳴茶園附近新開賓海樓飯館一座旁附以暢叙烟樓其中陳列各具均上洋運來一時挾妓來遊者車馬盈門頗稱繁盛云云

●謀娶優人　天津妓月卿者才色中姿去歲由津來營頗得碩腹賈顧盼不月餘獲洋蚨千餘而去到津後覓得某班優人名元紅者作小星並將素蓄之洋蚨千餘及平日之衣飾等件約值二千金傾囊付之以爲從此以長偕比目矣現元紅由津來埠月卿亦隨大婦同來有見之者僉云衣飾不似從前洋蚨亦歸烏有大有秋扇見捐之勢噫妓之得錢如此其易其歸優人又消耗如此識人之難於此可見

叢談

●騙術志異　有天津船到上海裝運棺木數具就中一具呢套裡釘抵埠時即有人披麻而入見棺拜倒衆皆知其爲子孫輩也拜畢向船中人云此柩急於過船可否先領船中人允之蓋靈柩斷無冒認之理若人出艙即至一長江船并呈出某局總辦書稱呼皆符管艙深信不疑答云將柩請至其船可也若人去而少頃柩來脚夫衆多俟柩安頓若人向管艙暫借百元開去小費行李一到如數算還管艙以柩既在船信亦接到即面生之人亦毫無可慮百元乃交其手見其先發給脚夫力錢畢携包向岸上遙望一若行李已將到者漸漸行去久之船開而人不至管艙無如何聽之將運柩至鎭江暫寄追船回終不見其人詢之局中並未作信始知撞騙後有柩尋者再從鎭江溫回遂相傳爲笑柄

NEWCHWANG, SATURDAY, MAY 5. 1906.

Mr. F. N. Meyer, the American agricultural explorer, started yesterday on a trip to the fruit-raising district about Kaopantze and will return before next Monday.

The I.C.P.O. has sent out a circular announcing the establishment of an agency at Feng Huang Cheng a town situated to the north of Antung, for which mails will be forwarded every other day *via* Kinchow and Hsiu Yuen.

It may be of some interest to learn for those engaged in river traffic that the blasting work on the wreck of the "Yatsunamaru" now in progress is to be carried on twice a day at slack water. We hear that circumstances being favourable, they will neglect no chance because of its coming at night. The contractor expects to finish his undertaking before the end of June next.

TOKYO ADVICES DATED LAST THURSDAY.

Dr. Rittel (?), the new Swiss Minister to Tokyo, lately promoted from Consul-Generalship, was received in audience by H. I. M. the Emperor last Wednesday and presented his credentials.

H. I. H. the Crown Prince entertained at a grand garden party at the Shinjiku Imperial Garden on Wednesday afternoon over 2,500 distinguished officers and officials made up of the princes of blood, State Ministers, and mostly Army officers who had taken part in the Grand Military Review two days before.

Ambassador Hayashi reached Nagasaki on the 1st inst.

The Austrian Minister to Tokyo departed from the Capital for home on leave.

Consul-General Uchida at New York has reported by telegraph that the recent earthquake about San Francisco is not likely to interfere seriously with the export trade of Japan. Demand for building material and cement will increase. Commerce bids fair to be restored to its normal activity much more speedily than generally expected.

Consul Okabe having arrived at Antung opened the port to international trade on May 1st as prearranged.

Mr. Schiff, the American millionaire who is touring through Japan gave a visit to Kyoto on the 3rd inst., and intends to leave for Manchuria after some days' stay.

According to a Shanghai telegram, the major points of agreement reached at the Russo-Chinese Conference at Peking by the 2nd inst. are reported to be as follows: (I) The Russian troops shall be withdrawn from Manchuria in observance of the Portsmouth Treaty, leaving only the railway guard. (II) The timber-felling industry in the two Provinces of Kirin and Heilungkiang shall be prosecuted under the joint management of Russo-Chinese corporations. (III) The right of forestry-felling is reserved to Russo-Chinese joint enterprise, even on the right bank of the Yalu.

Yesterday's Tokyo telegram states that, in spite of the rain on the 3rd inst., T. I. M.s the Emperor and the Empress proceeded in full dress to the Yasukuni Shrine, in which the memories of the brave dead are consecrated and perpetuated, in order to attend the ceremony of enshrining the names of those who have fallen during the late campaign.

Sir Ernest Satow, the British Minister to Peking, has concluded a signally successful diplomatic career at the Chinese capital, which he left yesterday (Friday) for home. The Japanese Minister Mr. Uchida will start for Tokyo about the 15th.

Dr. Omori, *rigakuhakushi*, and Mr. Nakamura, *Kogakushi*, will sail for San Francisco, on the mission of instituting scientific researches on the recent earthquake and its terrible effects.

The San Francisco Office of the Pacific Commercial Telegraph Company has not yet recovered its working efficiency and, it is said, does not accept telegrams from the Orient.

The N.Y.K. will open a regular line to Hongkong, Swatow, and Bangkok about the middle of May.

The s.s. "Ohio" No. 3 chartered by the Chinese Eastern Railway Company is to start plying between Vladivostock and Nagasaki, to link the connection of Europe with Japan by the through service of the Siberian Railway.

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 料理　第一樓　營口ホテル　元神廟街九十六號（電話八四番）

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主 井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主 村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三程

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主 吉住善藏

料理　沖の島　永世街百六十四號　店主 中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主 坪田正好

旅館 料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街　店主片山小みつ（電話一四五番）

旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主 麻田久二

旅館　大和館　永世街三十四號店主前田九一郎

料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主 直塚勝一

料理　萬梅　豊濟門街第百〇四號　店主 田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町二百平九号　店主 和田常松

和洋 御料理　公樂園　南永世街

東京 生蕎麥 一式　東庵　元神廟（電話百五十九）

旅館 料理　金城ホテル　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主齋藤富次郎

料理 旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主 澁田留吉

料理　喜樂亭　營口平野町

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科　さるそば 第二更科　營口元神廟街　永世街鶴の湯角

御料理 並ニ溫泉　一力　毎日新湯　營口永世街　店主 堀万助

和洋 料理　松月亭　營口元神廟街一四三号　住松信大益

料理　都樓　平野町　店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

旅館　奉天館　奉天城内鐘樓南大街　奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理　日清倶樂部　奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主 河野嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館　天神樓　奉天小西關大街北側　溫泉付大勉强キレーデヲイシヒ（電話 號）

旅館料理店　日の出樓　奉天小西門通（元紅葉館跡）　樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店　日盛館　奉天小西關大街南側　館主 入江熊男（電話 號）

旅館 料理店　梅松館　奉天城内灰市街東華門宮殿東側　館主 押尾富次郎（電話 號）

旅館料理店　大和館　奉天大西關高臺子廟前　館主 今井ユノ

旅館料理店　日奉館　奉天小西門外大街　館主 原田清五郎

高等旅館　東洋館　奉天大西門外小什字街（電話號）　主任 藤島初野

御料理　梅ケ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主 辻井ムメ

高等 御旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 牛肉すき燒 雞肉　日章館　日章亭　奉天小西關大什字街南へ入（電話 號）

旅館料理店　旭館本店　旭館支店　奉天大西關　奉天十間房　館主 原田新吉（電話 號）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

さるそば　更科　營口支店　奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任 林德松

御料理 會席　菊水館　主任 朝枝園挹

旅館 西洋料理　遼陽館　主任 永瀨宇吉

旅館 料理業　公陽館　主任 宮川秀基

御料理 會席　末廣屋　主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文　凱旋亭　主任 古谷庄太郎

旅館 御料理　遼塔ホテル　主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任 谷口今朝太郎

會席　玉家　主任 西野治三郎

御料理 會席　來々亭　主任 石田清

和洋 料理 御旅館　滿洲ホテル　遼陽西街西門二一七号　上松榮治郎

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

注意
英國製二連銃中古附屬一切賣却したし御望み之御方左記の所へ御一報被下度
日本郵便局私書函四號　WN生

一 和洋御料理　遼東館　遼陽城內東街

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀と言ふとするは弊館の特色に御座候

御旅館 御料理　扶桑館　奉天大西関大什字街　第五分局千〇六十八号　館主 堀田ハル　電話 号

奉天小西關新來當街々　御料理本店　金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街　御旅館　金城ホテル（電話二〇）
營口永世街　御料理支店　金城館（電話八三）
營口永世街　御旅館支店　金城ホテル
大連市吉野町　御料理支店　金城館
大連市吉野町　御旅館支店　金城館

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる様一意相勉め申候
猶は奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとこゝに一言申添置候

和洋 會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町　日本館（電話百三十）
各位様

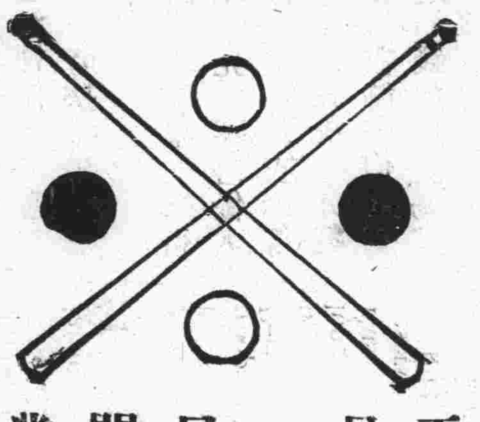
業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉强仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候　敬具

活版印刷 并に製本　弊所特色
●印刷鮮明　●價格低廉　●叮嚀專一　●期日正確

營口入口永世街東二本町角　川本活版所

美味安價西洋料理　牛莊亭
營口永世街五十二號鶴の湯東隣



五月一日開業

東京新臺到着
今回主人直接東京へ出張無類の好臺を手に入れ参り候間何卒御來遊奉願上候
五月六日玉大競技會
元神廟街　第二軒（第三樓の向横町）

着荷廣告

筑前博多單帶、全伊達卷、御召類、セル地、ゴム引防水布外套、金庫、錫製品各種、輕便水濾器械、洗桶、專賣特許米洗器、萬年筆、洋菓子、ネクタイ、洋傘、等勝手道具いろ〳〵

營口　加藤洋行（電話八十番）

四月十八日ヨリ仝廿八日マデ本社事務員仝診查醫當地滯在契約ノ御便利相計リ申候
明治生命保險株式會社牛莊代理店　加藤洋行

第二回新荷着

金舛洋行　盛進商行

爲替相場（五月四日）
日本向　百〇一圓（軍票百圓に付）
上海向　七十一兩二十五錢（同）
天津向　七百〇二圓八十七錢五厘（百弗に付）
芝罘向　一百〇三圓五十錢

日本品最近物價表　加藤洋行
紙類
一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙　仝　七圓五十錢
一仙花紙　一帖（六十枚）　六十錢
一塵紙　一圓七十錢
一仝　狀袋　二十枚續　三錢二厘以上四錢
一室內裝飾品及寢具　矢野洋行
一滿園　百枚　十三錢以上十八錢
一座ブトン　三枚組　六圓九十錢以上六十五圓
一　十帖　六圓五十錢以上三十五圓
一　五圓五十錢以上十四圓
一疊　二圓六十錢以上三圓
一薄椽　十枚　八圓
一麻緞通　一疊敷　三圓
一綿緞通　仝　三圓五十錢
一由加多織　仝　一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ヶ月前金　銀八十仙
半ヶ年前金　四弗八十仙
一ヶ年前金　銀九弗六十仙